

Topics
11

子育て教育分野やまちづくりなど まいた種を育てる1年とします。

会計別予算総括表

会 計 名		予 算 額	対 前 年 度 比 (%)
一 般 会 計		365億8,500万円	107.0
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	63億3,185万円	91.5
	土 地 取 得	1,973万円	134.6
	休 日 夜 間 急 患 セ ン タ ー	1億8,818万円	99.1
	介 護 保 険	67億1,870万円	106.4
	後期高齢者医療	10億1,397万円	101.5
	復興区画整理	6万円	50.0
	宅 地 造 成	4億5,093万円	37.4
企 業 会 計	水 道 事 業	32億4,792万円	95.3
	下 水 道 事 業	53億6,747万円	109.1
合 計		599億2,381万円	103.0

※万円未満は、端数処理しています。

※対前年度比は、小数第二位を四捨五入しています。

令和7年度予算総額

599億2,381万円

令和6年度は、夏の災害級の暑さ対策として、公立保育所遊戯室に空調機を設置しました。また、12月には消防署手倉田出張所の移転改築を完了させ、消防機能のさらなる強化を図りました。

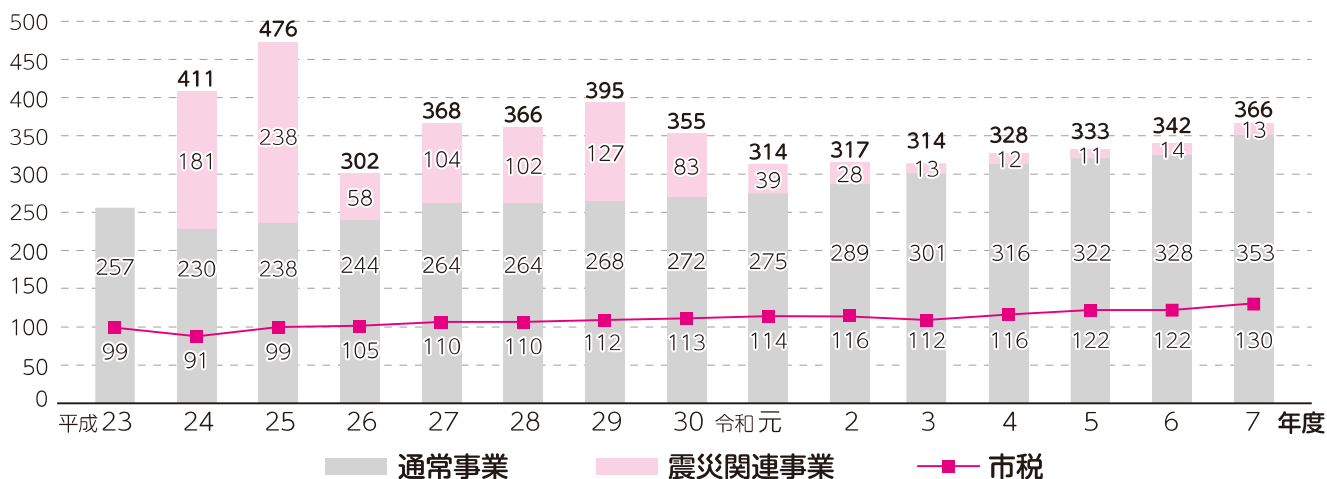
令和7年度は、持続可能なまちが20年先においても愛されるふるさとであり続けられるよう、**子育て支援の充実や新たなまちづくり、熱中症対策の強化、消防機能の強化等**、できる限りの施策を盛り込んだ予算を編成しました。

用語の解説

- 一般会計** 税などにより運営する市町村の基本的な会計。
- 特別会計** 保険料などにより運営する、一般会計から独立した会計。
- 企業会計** 特別会計のうち、水道事業など公営企業にかかるもの。

一般会計当初予算と市税の推移

単位:億円



一般会計 365億8,500万円 の内訳について**歳 入**

基金の繰り入れを除く一般財源全体では前年度比4.8%増の202億3,691万円となりました。前年度に引き続き財源不足が生じており、不足を解消するために財政調整基金から繰り入れた額は15億7,563万円となります。

市 税
129億9,683万円(35.5%)
市民の皆さんに
納めていただく税金

国県支出金
99億8,555万円(27.3%)
道路の整備や社会保障関連経費など、
特定の事業に対して国・県から交付されるお金

地方交付税 37億2,240万円(10.2%)
市の財源不足に対して国から交付されるお金

繰入金 23億9,204万円(6.5%)
積立金や特別会計からの繰入金

市債 24億4,850万円(6.7%)
建設事業のための借入金など

諸収入など
50億3,968万円(13.8%)

歳 出

社会保障費の増大等に伴い、人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が前年度比9.7%の増となる193億3,715万円となりました。普通建設事業費などの投資的経費については、前年度比2.8%の増となる30億6,548万円となりました。

民生費
145億858万円(39.7%)
子どもやお年寄り、障がい者などに

教育費
52億600万円(14.2%)
小・中学校や図書館・公民館などに

土木費
41億6,100万円(11.4%)
道路・公園の整備などに

公債費 26億7,801万円(7.3%)
借入金の返済に

衛生費 25億7,800万円(7.0%)
市民の健康やごみ処理などに

消防費 22億6,487万円(6.2%)

総務費など
51億8,854万円(14.2%)

※()内の数値は構成率

用語の解説**一 般 財 源**：市税など、用途が限定されないお金**特 定 財 源**：国庫支出金など、特定の目的のために歳入されるお金**義務的経費**：社会保障など、支出が義務付けられている経費**投資的経費**：施設の建設など、効果が将来に残る経費**問** 財政課 財政係 ☎724-7155

Topics
12

令和7年度 名取市の主要施策

安全・安心分野

●防災マニュアル整備事業

1,605万円

ハザードマップについて、内水ハザードマップを新たに加えて更新するとともに、閑上地区、下増田地区の地区別防災マニュアルについては、津波避難計画を踏まえて更新します。

●消防救急デジタル無線システム更新

5億7,090万円

平成24年度に整備した無線基地局、無線機及び車両動態管理装置の改良、機能強化を行い、無線環境の機能強化を図ります。

●指揮車及び水槽付ポンプ車更新

1億2,950万円

複数の消防隊出動時に、情報の収集・報告、及び二次災害が発生しないように安全管理する指揮車と高所からの人命救助や放水が可能な水槽付ポンプ車を更新し、消防力の強化を図ります。

保健・福祉・医療分野

●不妊検査費・不妊治療費助成事業

1,040万円

不妊治療に取り組みやすい環境の整備のため、不妊検査費・不妊治療費(先進医療分)の費用の一部を助成します。

●予防接種事業

3億462万円

B型肝炎・麻しん風しん等の予防接種に加え、新たに高齢者等を対象とした、带状疱疹のワクチン接種を実施します。

●高齢者等緊急通報システム整備事業

1,305万円

在宅高齢者に対し、自宅で急病や事故等により緊急に救援を必要とする場合に、緊急情報受信センターに緊急事態を知らせ、救急車の手配や警備員が駆け付ける「緊急通報システム」の対象世帯を拡大します。

●屋内遊戯施設運営事業

1,545万円

イオンモール名取内に4月から本格オープンする屋内遊戯施設「なとりぱーく」の運営を行っていくことで、子どもの健康増進及び健やかな心の発達に寄与する環境づくりを推進します。

●なとりっこすくハピ応援事業

825万円

出生または本市に転入してきた0歳児を対象に1万円相当のなとりコインと絵本を贈呈、3歳6か月の健康診査の対象児に絵本を贈呈します。

●産後ケア事業

1,240万円

母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目指します。

●児童センター遊戯室空調設備設置事業

1,600万円

熱中症対策の一環として、館腰及び名取が丘児童センターの遊戯室に空調機を設置し、子育て施設の環境改善を図ります。

●子ども食堂運営応援事業

135万円

市内の子ども食堂運営団体の共用の食料品等の保管場所として市庁舎敷地内に物置を設置します。

●重層的支援体制整備事業

835万円

令和8年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施を目指し、既存の包括的相談支援事業及び地域づくり事業の取組を活かしつつ、複雑化・複合化した相談に対応します。

産業振興・就労分野

●都市近郊型農業推進事業

1,150万円

肥料や種子、農業用の機械など都市近郊園芸産地の育成に必要な経費について、農業経営生産総合整備事業補助金を交付します。また「仙台せり」生産に必要な水源の確保に係る経費について、新たな補助金を交付します。

●ブルーツーリズム推進支援事業

150万円

名取・仙台沿岸部の周遊促進に向けて、海辺の魅力発信、サーフツーリズム推進等の各種事業に取り組めます。

●県産木材を活用した庁舎改修事業

1,650万円

庁舎1階南側の受付カウンターについて、新たに更新するとともに、同じく庁舎1階に置き型授乳室を設置します。原材料として県産木材を活用することで、公共施設の木質化を図るとともに県産木材の利用促進を図ります。

●プロフェッショナル人材活用支援事業

450万円

市内事業者が自社の経営課題解決のために、外部人材を活用する取り組みに対し、その経費の一部について、補助金を交付します。

●事業継続力強化計画策定支援事業

150万円

市内事業者が、防災・減災対策の自助・共助を含めた事前対策に関する計画「事業継続力強化計画」を策定することに対し奨励金を交付します。

●豊かなふる里保全整備事業

180万円

水田が有する雨水貯留能力を活用した「田んぼダム」の促進を図るべく、牛野、植松地区の農業法人や多面的活動組織と連携し、取り組みを開始します。

教育・文化・スポーツ分野

●水泳指導等業務委託モデル事業 1,270万円

プールの築年数が40年を超えており、市内でも規模の大きな愛島小学校及び増田西小学校において、試験的に民間のスイミングスクールによる水泳指導を実施します。

●ICT教育推進事業 7億7,367万円

GIGAスクール構想により、令和2年度導入した1人1台端末が、耐用年数を経過するため、端末及びその他必要な周辺機器の整備を実施します。

●小学校長寿命化修繕事業 6,889万円

学校施設長寿命化計画に基づき、館腰小学校の体育館屋根修繕を実施します。経年劣化による雨漏りや破損が見られる屋根・雨樋及び渡り廊下の修繕を行い、教育環境の整備を図ります。

●公民館施設整備事業 2億3,618万円

移転改築を進めている館腰公民館について、令和8年度末の開館を目指し、令和7年度は建設工事に着手します。公民館ホールにはエアコンを設置する予定で、熱中症対策及び避難所としての機能向上を図ります。

●体育施設整備方針策定事業 550万円

市内の体育施設は老朽化が顕著であり、耐震診断により廃止する施設の代替施設や、新たなニーズに対する施設の整備の検討を含め、今後の体育施設の全体的な方向性を示す方針を策定します。

●市民体育館エアコン設置事業 1,520万円

令和6年度に引き続き、市民体育館のアリーナにおける熱中症対策を試験的に実施するとともに、武道場にエアコンを設置することで利用しやすい環境を整備します。

生活環境・都市基盤分野

●五社山自然散策路駐車場整備事業 300万円

愛島台登山口の仮設駐車場を本設とする工事を行い、自然とふれあえる場の環境整備を実施します。

●宅配ボックス購入費補助事業 100万円

宅配便の再配達による温室効果ガスの排出を抑制するため、宅配ボックスの購入及び設置に係る費用の一部について補助金を交付し、ゼロカーボンシティの実現を推進します。

●ICT機器を活用した道路維持管理事業 235万円

災害時の迅速な被災状況の把握及び公共施設の維持管理の点検等において有効な無人航空機やタブレット端末を導入し、効率化を図ります。

●自転車走行空間整備事業 1,455万円

「名取市自転車活用推進計画」に位置付けられた路線を対象に、自転車ネットワーク路線の整備を進め、安全・安心な走行空間を目指します。

●交通安全対策事業 1,510万円

事故が多発している閑上地区について、ゾーン30プラスの指定を行い、自動車の通過交通、走行速度抑制を図るための安全対策を実施します。

●館腰遊歩道沿線法面監視システム設置事業 900万円

土砂災害を未然に防ぐために、館腰遊歩道沿線に法面監視システムを設置します。

●桜坂公園遊具設置事業 1,200万円

相互台東地区の桜坂公園に複合遊具を新設し、子どもたちがのびやかに遊べる公園整備を行います。

●海の見える丘公園駐車場整備事業 520万円

ゆりが丘地区の海の見える丘公園において、駐車場の不足を解消するために、駐車場の増設を行います。

●名取中央SIC周辺道路改良事業 1億4,805万円

令和7年度に名取中央スマートインター地区土地区画整理事業が開始されることに伴い、「(仮称)名取中央スマートインター線ほか2路線」の改良事業に着手します。

地域経営・行財政運営分野

●地方就職学生支援事業補助金 310万円

東京都内に本部を置く大学等の学生に対して、県内企業実施の就職活動に参加するための交通費と移住する際に要した移転費をそれぞれ支給し、若者のUIJターンの促進を図ります。

●デジタル地域通貨システム運用事業 3,410万円

令和6年8月から運用開始した「なとりコイン」について、キャッシュレス化による利便性の向上に加え、地域内経済の活性化、行政施策への参加促進を目的に、更なる利用促進を目指します。

●自治体情報システムの標準化・共通化対応事業 1億8,612万円

「地方公共団体システムの標準化に関する法律」に基づき、令和7年度末までに標準準拠システムへの移行が義務付けられている業務についてのシステム改修を行います。